

第87回定期演奏会

Nagoya Citizens' Orchestra The 87th Regular Concert

# 名古屋市民管弦楽団

Johannes Brahms

ブラームス

交響曲第4番 ホ短調

Ludwig van Beethoven

ベートーヴェン／ピアノ協奏曲第5番 変ホ長調 「皇帝」

Johann Strauss II.

ヨハン・シュトラウス2世／ワルツ「ウィーンの森の物語」

2023年6月25日(日)

開場/12:45 開演/13:30

愛知県芸術劇場コンサートホール

全指定席(大人・子供)/1,500円

※未就学児入場不可

ピアノ独奏

三輪 郁

Iku Miwa

© 小島竜生

指揮

寺岡 清高

Kiyotaka Teraoka

© 木村護

チケットのお取り扱い(郵送も可)

芸文プレイガイド

052-972-0430

託児サービスのご案内

トットメイト0120-01-6069 有料・予約制(6月18日まで、当日申込不可)  
未就学児童をお連れの方は託児サービスをご利用ください。

お問合せ先

名古屋市民管弦楽団 <https://www.nco.jp/> 0574-65-1837(松井)

後援

愛知県、名古屋市教育委員会

会場内では感染症対策へのご協力をお願いいたします

ピアノ独奏 三輪 郁 Iku Miwa

ウィーン国立音楽大学及び大学院を最優秀で修了、オーストリア政府からその業績が表彰された。“バルマ・ドーロ”国際コンクールにおいて審査員全員一致で第一位に選ばれたほか、ドイツ・ドルトムント国際シューベルトコンクールや浜松国際ピアノコンクールなどでも入賞している。ウィーン楽友協会やウィーン・コンツェルトハウスでのコンサートのほか、ドルトムント・フィル、ドイツ・ハレ歌劇場管、ノルウェー放送響をはじめとする世界各地のオーケストラと共演。また日本でも数多くのオーケストラとソリストとして共演する他、NHK交響楽団や新日本フィルなど日本のオーケストラのコンサートマスター、首席奏者たちとの室内楽コンサートでの数多くの共演を通じての音楽的信頼も厚い。東京においては2003年から2006年まで、ウィーン時代のモーツァルトに焦点をあてたコンサートシリーズ『4254日の奇蹟～ウィーンのモーツァルト』を企画開催し、大きな注目を集めた。また、ウィーン・フィルの首席奏者たちから大きな信頼を得ており、コンサートマスターのライナー・キュッヒル、ライナー・ホーネック、フォルクハルト・シュトイデ等と度々共演。さらにベルリン・フィルの首席奏者エマニュエル・パユ（フルート）、ラデク・バボラク（ホルン）などと共演している。CDに「バルトーク：ピアノ作品集」「Miwa Iku-Schubert」「Mozartiana / Iku Miwa」など。それぞれ『レコード芸術』誌「特選盤」「準特選盤」に選ばれるなど好評を博している。現在、山形大学教授、桐朋学園大学講師。

© 小島竜生

指揮 寺岡 清高 Kiyotaka Teraoka

早稲田大学第一文学部卒業。桐朋学園大学を経て、ウィーン国立音楽大学、イタリア・シエナのキジアーナ音楽院で学ぶ。1997年同音楽院より「フランコ・フェラーラ大賞」を授与され、1年間ジャンルイジ・ジェルメッティのアシスタントとしてロンドン・コヴェントガーデン、ミュンヘン・フィル等と同行し研鑽を積む。これまでに指揮を高階正光、カール・エステルライヒャ、ウロシュ・ラーヨヴィッチ、湯浅勇治、カルロ・マリア・ジュリーニ、ヨルマ・パヌラ、ネーメ・ヤルヴィの各氏に師事。2000年ミトロプーロス国際指揮者コンクール優勝。以降、ヴェニス・フェニーチェ歌劇場管弦楽団、サンクト・ペテルブルグ・フィルハーモニー交響楽団、オランダ放送管弦楽団、ウィーン室内管弦楽団、イギリス室内管弦楽団を始め、イタリアを中心にヨーロッパ各国のオーケストラへ客演。日本では2001年に大阪交響楽団を指揮してデビュー。これまでに札幌交響楽団、仙台フィルハーモニー管弦楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団、セントラル愛知交響楽団、中部フィルハーモニー交響楽団、愛知室内オーケストラ、関西フィルハーモニー管弦楽団、九州交響楽団等を指揮している。

2004年1月大阪交響楽団正指揮者に就任。2011年4月以降は常任指揮者として、2019年3月まで足かけ15年間、ウィーン世紀末のロマン派音楽を積極的にとりあげ続けた。とりわけ2013年6月の第176回定期演奏会における「オール ハンス・ロット プログラム」は大きな反響を呼び、同年の大阪文化祭賞を受賞した。三重県亀山市文化大使、同伊賀市文化都市協会音楽アドバイザー。ウィーン在住。

名古屋市民管弦楽団  
Nagoya Citizens' Orchestra

団員募集中

1958年「労音オーケストラ」として結成され、名古屋に本拠を置く社会人オーケストラとして自主的な活動をを行っている。1968年に「名古屋市民管弦楽団」と改組。1978年に名古屋市から「第3回名古屋市芸術奨励賞」を、1979年には愛知県から「愛知県芸術選奨文化賞」を受賞。1983年には、指揮者・小林研一郎に率いられ、ハンガリーのブダペストにて公演を行う。1992年には、名古屋市民芸術祭1992主催公演としてプッチーニのオペラ「トゥーランドット」を演奏し、好評を博した。その他、ガーシェイン「バリのアメリカ人」他のアメリカ音楽による演奏会（指揮：山田和樹）やラヴェル「ラ・ヴァルス」他のフランス音楽による演奏会（指揮：松尾葉子）、ホルスト「惑星」全曲（指揮：山下一史）、ファリャ「三角帽子」他のスペイン音楽による演奏会（指揮：松尾葉子）などの企画にも取り組む。2011年、名古屋マラー音楽祭参加公演としてマラー「交響曲第6番」（指揮：現田茂夫）を演奏。2018年、創立60周年を迎え、記念演奏会にてベートーヴェン「交響曲第9番」（指揮：山下一史）を演奏した。



【詳細】  
当楽団ホームページ  
<https://www.nco.jp/>

Instagram, Twitter, Facebookでも  
情報発信しています。

